

①自己紹介

■氏 名 馬屋原 紀子

■着任日 2023年4月1日

■所 属 三原市 高坂町

■着任前までの経験と移住経緯

- ・ イギリス留学1年
- ・ インテリア業界 18年
家具商品開発
物流（海外輸出入、倉庫管理、在庫管理など）
- ・ インスタグラム運用代行
- ・ 忙しい生活から、自分らしく地に足をつけた生活を
したいと思い、移住
三原の人柄の良さに惹かれ三原市に決定



②これまでの活動(着任から現在まで)

高坂の郷 のどか 基盤整備

SNS運用

「高坂の郷のどか」「高坂町」 情報発信

- ・ インスタグラム
- ・ ホームページ
- ・ Facebook

ワークショップ モニター募集

2024年本格稼働に向けての無料モニターの募集
受講者に対しアンケートを実施し、次回開催の
内容の充実を図る

イベント出店

佛通寺紅葉シーズンの観光客に向けて
地元の食材を使用したスイーツや飲み物を販売

インスタグラム掲載 リール動画



②これまでの活動（着任から現在まで）

高坂の郷 のどか 基盤整備

販促ツール

- ・チラシ作成（のどか、和蜜倶楽部）
- ・看板作成
- ・Google Map設定
- ・宿泊向けに注意事項などの作成

運用仕組みづくり

- ・「郷の市」定例会の開始運用
- ・のどか関係者の定例会の開始運用
- ・のどかチーム内での業務フロー作成
- ・清掃業務フロー、清掃チェックリスト作成
- ・利用料金の見直し

内装の改修提案と地域住民との連携実行

- ・漆喰壁
- ・洗面台
- ・前職の家具や照明など提供し、インテリアの見直し



②これまでの活動（着任から現在まで）

認知度の拡大
「郷の市」の開催

販路の拡大
OTAサイトへの登録

デジタルマーケティングの
強化
Instagram

8月
1組 → 10組

③三原市地域おこし協力隊として挑戦したいこと

■挑戦したいこと（任期後のキャリアイメージ）

食の発信

薬膳を通しての食養生ワークショップ開催

【キャリアビジョン】

薬膳を元に、食養生の価値を広めていきます

【具体的施策】

季節に合わせた薬膳ワークショップの定期開催 オンライン講座の立ち上げによる全国への発信

地域コミュニティとの連携による健康増進活動

④ 2025年3月に向けてのチャレンジ宣言

「郷の市をの充実と高坂の郷のどかの宿泊を定着化」

⑤2025年3月～活動報告(成果と課題)

次回活動報告会（2025年3月）に向けてチャレンジ宣言

「郷の市をの充実と高坂の郷のどかの宿泊を定着化」

→【半年間の活動振り返り】： 80 %】

1) SNSキャンペーンの展開:

郷の市での体験をSNSでシェアしてもらおうキャンペーンを行い、イベントの認知度を向上

→個別振り返り【 40%】： 郷の市当日の配布がうまくいかなかった。

2) 口コミ・リピーター戦略:

宿泊者に対し、リピーター特典を提供し、SNSを通じて新たな宿泊利用者を獲得する。

併せて、SNSでの宿泊体験の共有を促進する。

→個別振り返り【 70 %】： SNSでの宿泊体験投稿は実施できたものの、対応者との連携体制に改善の余地があり、特典提供や全利用者の投稿には至らなかった

3) 地域体験プログラムの充実：

新規利用者や宿泊者向けに、高坂町の自然や文化を体験できるプログラムを拡充。

染物体験や竹細工ワークショップなど、宿泊とセットで楽しめる体験を提供し、

宿泊の魅力をさらに高める。

→個別振り返り【 10%】： 講師の予定を詰め切ることができなかった

⑥次回(2025年9月予定)個別報告会に向けて

次回活動報告会（2025年9月）に向けてチャレンジ宣言

「 高坂を地域の方々にもっと身近な場所に
— 手芸と食を通じた新たな繋がりづくり — 」

⑤ 2025年9月に向けてのチャレンジ宣言

次回活動報告会（2025年9月）に向けてチャレンジ宣言

「 高坂を地域の方々にもっと身近な場所に
— 手芸と食を通じた新たな繋がりづくり — 」

その為に、この半年間で以下のアクションを実施します。

- 1)アクションプラン： 三原市や近隣の方々に向けた手芸交流の場を定期開催（月1回を目標）
- 2)アクションプラン： 薬膳ワークショップを通じて、健康と食の魅力を伝える
- 3)アクションプラン： 参加者の声を活かし、地域に根付く活動へと発展させる
- 4)アクションプラン： 地域密着の情報発信を強化（SNS・チラシなど）